



TIAニュース

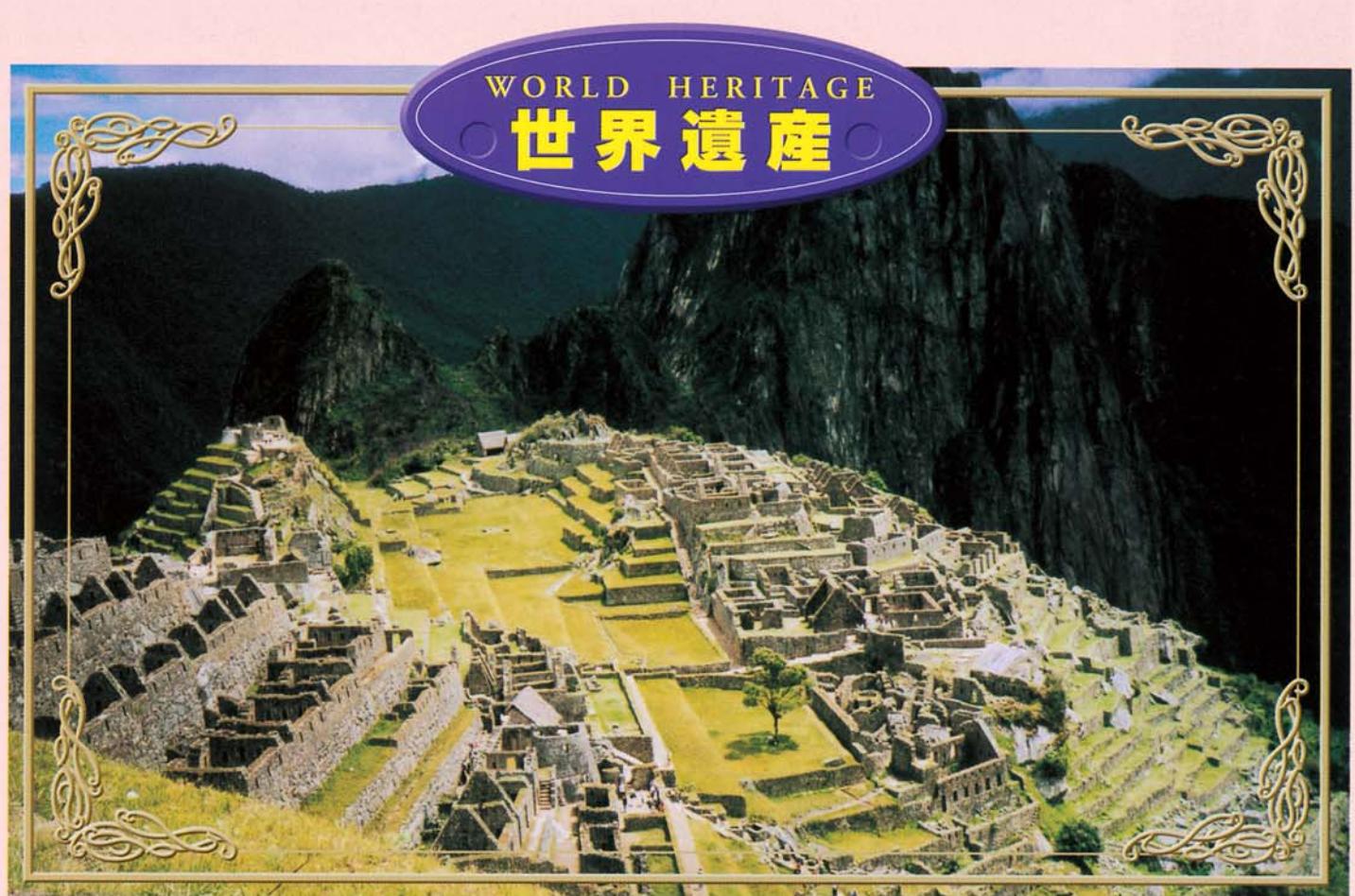


財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

やあ!

2001
JANUARY
No.71

1



▲南米ペルーのアンデス山脈にあるインカ帝国の遺跡といわれるマチュピチュ。1911年にアメリカ人ハイラムビンガムがこの遺跡の存在を再発見した。「空中都市」という異名があるくらい、下からはこの存在が判らない。平らな北部と傾斜の南部に分かれており、北部には長方形の広大な広場と中央神殿、3つの窓の神殿があり、南部には段々畑の続く農耕エリアと太陽の神殿と呼ばれる大きな塔がある。

特集

とちぎインターナショナル フェスティバル2000

TIAホームページ

URL <http://www.pto.co.jp/tia/>

- ◆ J E T コーナー ジェイミー・ブライスさん（アメリカ出身）
- ◆ レポート とちぎ国際セミナー
‘アラブから日本を考える’ 開催
- ◆ こんな店あんな店 居酒屋「ドリトル」

新年のごあいさつ

財団法人栃木県国際交流協会
理事長 小菅 充



21世紀という新しい世紀を迎えて、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様には日頃から当協会の運営にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

グローバリゼーションの進展等に伴い、地域の国際化が一層進みつつある中で、国際交流や国際協力に关心を寄せる若い世代の人たちも少なくないことを、力強く感じているところであります。

学校教育にも国際理解のための授業が取り入れられるようになり、「世界の中の日本」、「日本の中の世界」を若い人たちから考えるようになってきております。こうした若い人たちの意識の面での国際化は、将来、更に世界に開かれた日本、世界に貢献する日本を築き上げていく大きな力になるものと確信

しております。私どもいたしましても、こうした国際化に対応した様々な事業に積極的に取組んで参りたいと考えております。

近年、インターネットやi-Mode革命等に伴い、世界が大変身近なものとなっております。当協会におきましても、インターネットを活用したホームページなどの情報分野面の充実に一層力を入れて参ります。

また、異国で生活する外国人が直面する様々な問題の解決にお役に立てるよう、引き続き相談事業を実施いたします。

外国人との共住、共存、そして隣人としてお互いに助け合っていくことが当たり前の時代の要請の中で、各国際交流団体をはじめ県民の皆様のお力添えをいただきながら、地域の国際化の推進に努めて参りたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

We have just welcomed in a new 21 Century!
Let me wish you all a Happy New Year!

I would like to begin by extending my most sincere thanks to everyone for all of their help and support in our Association's daily affairs and matters.

It seems that the internationalization occurring locally has progressed quite impressively. The younger generation's active interest in international relations has shown an expansion in international cooperation and services activities.

Within school education, international understanding has also been implemented into the classrooms. In doing so, students are able to begin thinking about the ideas of "Japan Within the World" and "The World Within Japan" starting at an early age. With internationally minded youths like these, it is convincing to believe that Japan will have the power to become even more open and contributive to the world in the future. It is for these reasons that I wish to go ahead and actively adopt useful programs.

Recently the world has become even smaller due to the internet, mobile communication and the IT Revolution. We here at the Tochigi International Association are also putting even more strength into enriching our homepage and other areas of the information fields.

Furthermore, with the help of other related people and organizations, we are continuing to offer counseling and advising in order to provide helpful solutions to the various problems foreigners living in Japan might face in their daily lives.

Living in the times where it is considered natural to live among and coexist with foreigners, as well as being asked to help each other out as neighbors, it is our intention to combine strengths with various international groups and work towards furthering internationalization on the local level.

I would like to close by wishing you all the best for this year.



クリスマスは、みんなが喜び、祈り、希望のムードに包まれる一日です。

キリストを表わすクリスマス・ツリーは「命の木」といわれ、クリスマスにはかかせないものです。

クリスマス・イブには家族でディナー・パーティーをします。クリスマスの音楽を聞いたり歌を歌ったりしながら、七面鳥やPanetone〔パネットネ〕、(ドライフルーツが入った甘いお菓子)を食べます。夜中になるとサンタさんが子供たちにプレゼントをもって登場します。大人たちはシャンパンで「Feliz Natal！」〔フェリス ナタウ〕、(クリスマスおめでとう！)と乾杯します。

大晦日の夜は、Reveillon [ヘヴェイオン] という夕食付きのダンス・パーティー

に行ったり、家族でパーティーをしたりします。そのとき、心を清めて新しい年を迎えるという意味で白い服を着ます。

新年が明けると、盛大な花火がいっせいに上げられ、回りの人達と「Feliz Ano Novo！」〔フェリス アノ ノヴォ〕、(明けましておめでとう！)と言いかながら抱き合います。

サンパウロ市では、新しい年に向かって走り出すという意味で、新年の0時になるとマラソン大会が行われます。

また、海岸では、願い事がかなうようにと小さな模型の船を作り、その船に願い事を書いたものを乗せ、沖に流す風習もあります。(国際交流嘱託員・石川アンナ談)



▲ブラジル県費留学生のクリスマス・パーティー

知ってて得する なんでもQ&A

法律扶助とは？

トラブルを解決するのにどうしても弁護士が必要な場合に、「弁護士を知らない」、「裁判費用がない」などの理由で、裁判を受けることが出来ない人のために法律扶助協会が行っている制度です。

法律扶助を受けるには、次の二つの条件を満たすことが必要です。

- 1.自分で費用が負担できないこと
- 2.勝訴の見込みがあること

扶助が決定になると、弁護士が紹介され、必要な費用を立替えてもらいます。その費用を、利用者は、経済的能力に応じて、毎月割賦で返還していくことになります。

外国人でも適正な在留資格を持っていれば、申込むことが出来ます。詳しくは、財團法人法律扶助協会栃木県支部 (Tel・028-622-2008) へ。

JETコーナー

外国語指導助手
ジェイミー・ブライスさん
(アメリカ出身)

日本国内車の旅

私と私の友達は、いつも車での旅を楽しんでいる。電車の料金、周りに気を使いながら話をしなければならないことや、プラットホームでの喫煙所を探すことなどを考えると、車での旅の方が私達にとっては気軽である。

去年の3月、福島からの帰り道、オートマの窓が閉まらなくなった。そこから入って来る冷たい風に、友達が我慢の限界を感じ始めていたので、穀風景なところにあつた一番近くのガソリンスタンドに立ち寄った。従業員に窓を覆えるようなビニールがほしいことを伝えたが、数分後、休日であったにも関わらず、メカニックが彼の家から走ってやって来た。そのメカニックに、モーターは最近取り替えたばかりで何の問



題もなく、ボタンの部分のみが故障していることをはっきり伝えたにも関わらず、彼は窓全体を取り、モーターを取り換え、窓を閉めてくれた。そんな作業が行われている一方、4人の外国人女性の周りには6人の人々が集まり、知っている英単語を話したそうにしており、ましては何かを見に来ている観客のようでもあった。

何故か最終的には、壊れてもいいモーターを取り替え、ドアを元通りにし、メカニックは言った。「このようなことはめったにないことだから料金はいらないよ」と！

これがアメリカであったなら、このようなサービスを行ってくれた時に料金は無料にはならないだろうし、きっと、私が欲しかったビニール袋をくれただけに違いない。

Road Trip in Japan

My friends and I enjoy road trips. To us, a car always beats train fairs, speaking quietly to avoid deadly stares, or searching for the smoking section between train transfers.

Last March, on our way home from Fukushima, my automatic window wouldn't go up. My friends didn't appreciate the cold breeze, so I pulled into the nearest gas station (in the middle of nowhere) and asked the attendant for a piece of plastic to cover the window. Minutes later, on his day off, the

mechanic literally came running over from his house. I explained that the button for the window was broken, not the motor since I just had it replaced a month before. Insisting it was the motor, he suddenly began taking apart my entire door, removing the motor, and unlodging the window. Meanwhile, about six people gathered around us four foreign girls, attempting to speak every word of English they knew, and watched us as if we were the best form of entertainment around.

In the end, he placed the motor, which wasn't even broken, in the trunk, taped up the window, put the door back together, then told us that because this was such a rare and fortunate occasion for him, there would be no charge.

If I had been in America, I wonder if someone would have gone to so much trouble free of charge, or whether I would have just been given the plastic I'd asked for.



TIAライブラリー案内

(貸出のお問い合わせはTIAまで)

●さあすわってお聞きなさい



南アフリカの最年長女性作家が、若い人たちに贈る、勇気と知恵に満ちた楽しい物語。クズワヨおばあちゃんの楽しい語りに耳をかたむけるだけでつらいことなど吹きとんでもしまう。ダチョウを怖がって逃げてしまった男の人生を語った「ダチョウにお聞き」、結婚式に花婿の妻が押しかけてきて大騒ぎになる「ふた股をかけた男」な

どを収める。クズワヨのいう「分かち合う」ことの最も基本といえる語りの場があるということが、実はその社会の健全さを表しているということであろう。もちろん必ずしも顔がほころんでしまうほど楽しい物語とはいえないが、一つの社会が育くんできた健全さに触れていただければ、また別の感動を得られるのではないかと思う。

(エレンクズワヨ著／スリーエーネットワーク発行／1800円)

●ODA開発教育キット(ビデオ十副読本)

世界のみんなの笑顔のために

—国際協力と日本—

小学校6年の社会・総合的な学習の「国際理解」に対応した教材で、教師用副読本とビデオ教材の教育キット。

ODAを始めとする国際協力を推進する

ことが日本にとって極めて重要である一方で、「国際協力」「開発援助」をどのように子供たちに教えていくかといった情報、ノウハウ等はまだ

教育現場に十分普及しているとは言い難い状況にあります。そこで開発問題や国際協力の重要性を理解し、そのあり方について考える能力を子供たちに身につけさせるための教育の手助けとして作られた教材。

映像と副読本を用いて、国際社会におけるわが国の役割をイメージ豊かにし、かつ具体的な理解を促すことができる。
(外務省経済協力局企画／株NHKプロモーション制作)



とちぎ インターナショナル フェスティバル2000

2000年11月25日(土) 26日(日) 開催

去る11月25日(土) 26日(日)の両日、とちぎ国際交流センターで、関係団体の協力をいただき「とちぎインターナショナルフェスティバル2000」を開催した。

25日は、外国人と日本人のディスカッション、ボランティアスクール、国連NGO会議・中東女性会議報告、着物教室、華道や茶道の紹介、日本の食文化紹介を行った。

26日は、館内や屋外テント等での、各国の料理や手工芸品・民芸品等の販売のほか、多目的ホールや玄関前での琴の演奏や日本の踊り、韓国の農楽の披露などがあり、また、外国人を対象とした職業・研修についての相談や無料健康診断等も行われた。たくさんの来場者で賑わった。



JICA紹介コーナー・・現地の国際協力の現場の様子をパネル等で分かりやすく紹介

25
日



日本の食文化紹介・・日本の伝統料理の雑煮と
筑前煮に挑戦



外国人と日本人のディスカッション・・
終始なごやかなムード



華道教室・・日本の生け花を体験



着物教室・・着物の歴史、着物の着方について勉強



ボランティアスクール・・貧困について考える



国連NGO会議・中東女性会議
活動報告会・・中東での活動の熱の入った報告。

26
日



屋外での催し・・韓国の農楽が披露された



もちつきをするアフリカから来た外国人



2階の催し（ホール）・・各国の琴の演奏

とちぎインターナショナルフェスティバル2000 TOCHIGI INTERNATIONAL FESTIVAL 2000

2000年11月25日・26日



2階の催し・民族衣装の紹介。各国の衣装を試着することもできた



3階の催し（屋外）・・屋外にテントを張って、アジアンエスニック（タイ・ネパール）の料理を味わった



3階の催し（和室）・茶道の無料体験。実際に着物を着て、作法も習得

レポート

とちぎ国際交流セミナー アラブから日本を考える

12月14日（木）・とちぎ国際交流センターで「とちぎ国際セミナー」を開催した。

栃木県出身の在オマーン日本国特命全権大使神長善次氏を講師としてお迎えし、「アラブから日本を考える」をテーマに、お話を聴きしたもの。

神長氏は外務省入省後、米国、フィリピン、インド、インドネシア等在外公館で活躍され、現在は在オマーンの日本国大使として活躍されている。

今回の講演で大使は、アラブの本質は、コーラン（クルアン）であること、クルアン（経典）の本来の意味は「読まれる」ものであること、アラブがこの「クルアン」に忠実な社会であることなどを分かりやすく話された。

講演会のあとは、大使を囲んでのティーパーティーを開催し、終始和やかなムードで、予定の時間が過ぎても大使を囲む輪が

なかなか崩れないほどであった。

神長大使の講演を聞いてどんな感想をお持ちですかという問い合わせに対して、会場で講演を聞いたTさんは、「アラブというと男性の国というイメージでしたが、大使の話を聞いて、今までのイメージが変わりました。」と答えてくれた。またKさんは、「アラブの国会議員が日本を訪れた際に、テレビで忠臣蔵をみて、日本の科学技術の裏にはこういう文化もあるんですねと話していた、ということを大使から聞いて、日本の文化に今まで以上に誇りを持ちました。」と語ってくれた。



▲講演をする神長大使

[オマーン国とは？]

アラビア半島の東端に位置し、北部はオマーン湾、東部から南部はアラビア海に面し、面積は日本の本州をやや下回り、国土の大部分は砂漠。



紀元前2世紀頃から、アラビア半島北部やイエメンから移動してきたアラブ人が定住・六世紀末に移動してきたアズド族が国家を樹立して、イスラム教を国教とした。しかし、歴代のカリフ（イスラム世界の最高指導者）への従属をこぼみ、賢者による選挙で、みずからイマーム（宗教的指導者）を選んできた。

民族はアラブ人が大部分で、ほかにイラン人、インド人、アフリカ人などがいる。

オマーン国の人口は、約229万人。首都は古くから港湾都市として発展したマスカット。

日本は、1971年6月1日に承認し、在オマーン日本大使館をマスカットに設立。

日本は輸出最大相手国で主に原油が占める。日本からの輸入は、自動車、機械など。日本の経済協力は農業開発、港湾整備などの技術協力が主。

かに香る。ぜひ一度飲まれてはいかがでしょうか。

このお店にくるお客様は、だいたい30歳前後の方が多いそうだが、ボトルキープされるお酒の種類は非常に多く、お店にないお酒をキープしたいというお客様もいて店長の橋本さんが自らお客様のためにさがして来ている。店内もエスニックな飾りつけがされており、一味違った居酒屋の雰囲気が楽しめるお店だ。

- ▶ 営業時間=PM5:00-12:00（木曜定休）
- ▶ 住所=宇都宮市塙田1-3-19（塙田駐車場並び）▶ 電話=028-625-5690

こんな店 あんな店

居酒屋「ドリトル」

青年海外協力隊員としてアフリカのボツワナに派遣されていた橋本さんが帰国したらこのような店を開こうと考えていたとのこと。橋本さんは、現地にいたときからいろいろな種類のお酒を置いてみたいという考えから、昨年の4月に開いたお店である。



▲店内の様子

お店のカウンターには、バーボン、紹興酒、泡盛など世界各国のお酒が並べられている。

また、そのお酒に合わせた、おつまみも数多くメニューにリストアップされ、普通の居酒屋ではなかなか口にすることの出来ないようなものもある。

例えば、軟骨の串揚げ西域スパイスは、橋本さんが中国の西安を訪れたときに食べたシシカバブの味付けが気に入って同じスパイスで味付けしたもの。「モモ」といわれるクミンというスパイスが入ったネパール餃子やイスタンブルの屋台で売られているベーカドポテトの中身をくり抜いてバターとチーズ、コーン、ピクルス、トマトをトッピングしてマヨネーズ系のドレッシングをかけたちょっとエスニックなベーカドポテト。また、橋本さんが以前味噌工場で働いていたときの経験から生まれた豆腐のゆずみそ漬などがお勧めの一品となっている。

お酒のなかでのお勧めは、ポーランド産のお酒で「ズブロッカ」といわれるウォッカ。これはお酒のなかに草が一本はいっていて、これがお酒に香りをつけていて、仄



情報発信 地域の国際交流案内

★水を求めるアジアの人々のために!!

インド井戸掘りワークキャンプ

▶実施日時=2001年2月28日(水)~3月14日(水) ▶実施場所=インドカルナータカ州ビジャプール地区 ▶内容=井戸掘り、村人との交流、アジェンタ、エローラ見学
▶定員=成年男女14名 ▶締切=1月26日 ▶参加費=260,000円 ▶問い合わせ先=▶アジア協会アジア友の会(JAFS)〒550-0002大阪市西区江戸堀1-2-16大ビル4F TEL:06-6444-0587/FAX:06-6444-0581(地下鉄四つ橋線肥後橋駅下車1-B出口よりすぐ) 地下鉄御堂筋線淀屋橋駅4号出口徒歩6分) e-mail:jafs@bekkoame.ne.jpホームページhttp://www.bekkoame.ne.jp/i/jafs/

★アジア学院アジア農村指導者養成専門学校農村開発科2001年度学生募集!

アジア学院ではアジア・アフリカの農村地域からの農村リーダーと共に1年間暮らし持続可能な農業と農村開発について学ぶ日本人学生を募集しています。

▶主な研修教科=指導者論、開発論(世界経済と世界化、食糧問題と栄養、環境と開発、人権問題、平和問題等)、持続可能な農業、調査法と報告書指導、農村調査研究農村開発と共同体組織、小規模開発プロジェクト、実習及びプロジェクト(蔬菜作物、畜産、養魚、食品加工)研修旅行(農村調査研修、西日本研修旅行) ▶海外研修=将来発展途上国での活動につながる、より実践的な経験を習得するために、フィ

リピンネグロス島にて、約2か月間(2002年1月~2月)農場実習セミナー企画、実行、農村調査、NGO及び政府開発関係機関の見学訪問、地元農民との交流等を行う。▶研修期間=2001年4月1日より1年。海外研修の期間を含む。▶募集締切り=2001年3月15日 ▶お問い合わせ=アジア学院〒329-2703 栃木県那須郡西北須野町楢沢442-1 TEL:0287-36-3111 FAX:0287-37-5833 e-mail: ari@nasu-net.or.jpホームページ: http://www.nasu-net.or.jp/~ari

★国際人材育成・ボランティア体験・英語研修

▶研修目的=ボランティア体験(チャリティショップ、老人ホーム、託児所などの手伝い)・野外環境(文化財保護)ワーク・英語研修(レベル別・外国人学生と一緒に学ぶ)と国際期間・NGO・NPO・日系製造企業訪問など自己研修 ▶研修期間=2001年2/3~3/2、2/3~3/23、2/24~3/23、4/14~5/11、8/18~9/14、9/8~10/5、9/8~9/22 ▶対象=18歳以上で英語による基本的なコミュニケーションができる方(国連英検C級程度以上の方、大検資格をお持ちの方) ▶お問い合わせ=コミュニケーションインターナショナルIVCT係TEL&FAX 03-3205-0881 e-mail:ci@gol.comホームページhttp://come.to/ci

★懸賞論文コンクール

▶論文課題=「21世紀における日EU関係」 ▶応募資格=△学生の部・平成13年1月1日現在、大学生までの学生(学部・専攻は問わない。短大生、高校生等も含む)△社会人の部・社会人、研究者、大学院生等、上記に該当しない者 ▶論文形式=A4版の用紙最大10枚程度、使用言語は日本語ワープロにて作成。(書式:横書き、40

字×40行)必ずしも厳密な学術論文形式とする必要なし。▶締切り=平成13年3月31日(土) ▶送付先=〒106-0041 東京都港区麻布台3-1-2I飯倉セントラルビル4階社団法人日本外交協会「日EUに関する懸賞論文」係 A. 日本外交協会のアドレスeuronbun@spjd.or.jpに添付して送付 B. データを保存したフロッピーディスクを論文に同封 ▶注意事項=応募者について以下の事項を記載した用紙を論文の表紙に添付のこと(1)氏名(フリガナ)、性別、年齢(2)学校名/勤務先、学部名/所属、学年/勤務年数(3)連絡先住所、電話番号(休暇、帰省中の連絡先も)(4)e-mailのアドレス(5)応募のきっかけ(ポスター、ホームページ、新聞雑誌等) ▶審査=△審査方法・有識者による「審査委員会」を設置し、論文審査の上、優秀者を決定、表彰を行います。(審査委員長:田中俊郎慶應大学教授)△審査結果発表・4月に入賞者本人に通知し、外務省及び▶日本外交協会ホームページに掲載します。▶お問い合わせ=▶日本外交協会 TEL:03-3584-6200 FAX:03-3584-7542 外務省国際経第一課 TEL:03-3580-3311(内線2516)ホームページ▶日本外交協会http://www.spjd.or.jp/ 外務省国際経済第一課 http://www.mofa.go.jp/mofaj/

★ピースボート第33回地球一周船の旅

地球各地の寄港地のNGOや学生たちと交流しながら、草の根交流をするクルーズ。▶予定寄港地=アジア・欧米・アフリカ ▶予定寄港期間=2001年5月22日~8月26日 ▶問い合わせ先=ピースボート事務局〒169-0075東京都新宿区高田馬場3-14-3-2F TEL:03-3363-7561/FAX:03-3363-7562 ホームページhttp://www.peaceboat.org/

宇都宮←羽田空港

(直通高速バス 1日5往復)

宇都宮から羽田空港へ直通バス運行開始

●柳田に専用駐車場(150台)完備 1日200円

●運賃 大人片道

3,500円

小人半額・税込

●所要時間

150

~190分

羽田空港行

柳田(柳田大通り)発	3:05	4:05	5:15	8:35	16:05
JR宇都宮駅発	3:20	4:20	5:30	9:00	16:30
東京駅発	3:23	4:23	5:33	9:05	16:35
羽田空港着	5:40	6:40	8:00	11:40	19:10

宇都宮行

羽田空港発	10:00	14:35	19:10	21:10	22:40
-------	-------	-------	-------	-------	-------

●お問い合わせ・ご予約は羽田空港行予約センター

☎(028)639-6700

関東バス

栃木県交響楽団

創立30周年
第70回定期演奏会

曲目 スメタナ/交響詩“モルダウ”
チャイコフスキイ/ピアノ協奏曲第1番
ベートーヴェン/交響曲第7番



ピアノ
横山 幸雄



指揮
井崎 正浩

2/4

(日) 2:00PM ▶宇都宮市文化会館大ホール全自由席
¥1,500 宇都宮市内ブレイガイド・チケットぴあ
お問い合わせ 栃木事務局 ☎028-643-5288

TIA Information Corner

★アットホームなビデオ作家たち参加者募集

TIAニュースやあ！on TVでは、みんなの撮ったビデオ作品を募集しています。採用された方は、とちぎテレビで一緒に作品を編集して、番組にも出演していただきます！
▶応募資格=栃木県にお住まいの方（性別、年齢、国籍は問いません）▶作品条件=国際交流などに関わる内容のビデオテープ（DV、8ミリなどのビデオカセットでも可）
「外国人とバーベキュー・パーティー！」
「海外旅行中にこんなことが・・・！」
「こんなシーンって、なんかいいよね～」
など。▶応募先=作品タイトル、住所、氏名、電話番号を添えて、2001年1月31日までにTIAに応募してください。（応募作品は返却します）▶放送日=2001年3月。

★安全ガイド5か国語版

栃木県警察本部では、「ようこそ安全の国・日本へ」「安全に快適に道路を利用していただくために」という小冊子を発行しております。言語別に色分けされ、タイ語・中国語・英語・スペイン語・ポルトガル語の5か国語版があり、日本の交通ルールや事故が起きたときの対処方法などが分かりやすく書かれています。この冊子は、TIAのインフォメーションコーナーにおいてあります。

★オーストラリア日本語講師派遣事業

▶実施国=オーストラリア（ニューサウスウェールズ州が中心）▶参加期間=現地受け入れ学校の1学期-4学期（3か月～9か月が一般的）受入れ時期としては2月、4月、7月、9月開始が一般的▶活動内容=派遣先の学校での日本語指導、日本文化紹介及び現地学校スタッフの補佐を行う。日

本語に加え、他の授業や課外活動への参加をお願いする学校もある。柔軟に対応していただける方の参加を希望。▶参加条件= ◇年齢：20歳～29歳（30歳以上の方は要問い合わせ）◇プログラム参加に必要な英語能力を有する方（英検2級程度以上）◇学校の指導方針に従い、柔軟に対応し、協調性をもって活動できる方。▶資料請求・問い合わせ先=文化教育交流会〒532-0003大阪市淀川区宮原1-16-2ジャルダン東淀川604 TEL.06-6397-7030/FAX.06-6397-3757 ホームページhttp://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakushin/cec/e-mail:cec@osk.3web.ne.jp

TIA日誌

2000年11月1日～2000年12月31日

- 11/1 浙江省青少年民族音楽団送別会（ニューミクら）
- 11/2 県費留学生ミーティング（センター）
- 11/7 海外技術研修員定例ミーティング（センター）
外国人のための法律相談会（センター）
- 11/8 中国大運河巡り講座（センター）
- 11/9 フランススポーツクリューズ高校生送別会（チサンホテル宇都宮）
- 11/12 国連協会英語検定試験（センター）
外国人のための法律相談会（栃木市）
- 11/13 海外技術研修員・県費留学生県外視察（関西方面/～17日）
- 11/15 中国大運河巡り講座（センター）
- 11/22 中国大運河巡り講座（センター）
- 11/25 とちぎインターナショナルフェステ

イバル2000（センター/～26日）

- 11/28 中国大運河巡り講座（センター）
- 12/1 県費留学生ミーティング（センター）
- 12/5 フランス派遣高校生選考委員会（センター）
- 海外技術研修員ミーティング（センター）
- 12/7 北関東三県国際交流協会連絡会議（センター）
- 12/8 海外技術研修員受入機関等との打合せ（センター）
- 12/14 とちぎ国際セミナー（センター）
- 12/16 栃木県海外移住家族会役員会（センター）

TIA賛助会員募集中！

賛助会員になりますと、TIAの機関紙、各種刊行物、催事情報等が受けられます。またテレビ方式変換ビデオ（海外→日本、日本→海外）をご利用できます。その他会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円。

※賛助会費と出捐金の運用益は、TIAの様々な事業に使われており、地域の国際化のために役立っています。

<新規賛助会員の方々>

個人：カザリナ・ジューリア様、
田徳意様、岩上陽子様

～ご入会、ありがとうございます～

○今回のとちぎ国際セミナーは、本県出身の在オマーン日本国大使の神長氏に講演をしていただいたが、たくさんの参加者があり大盛況であった。その後で行われたティーパーティーでも、大使を囲み中東の話で盛り上がった。中東でパーティーに招かれた時には、話をするなら食事の前で、食事が終わったらすぐに帰るというのがイスラムの教えだそうだ・・・

○今年のインターナショナルフェスティバルは、幸いにも前日の天気予報に反して、両日ともよい天候に恵まれた。今年は、お楽しみ抽選会があったが、来場者は幸運にめぐまれたかな？

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄附金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。当協会の事業にご賛同下さる企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

